

「通常の学級で共に学ぶ取組事例」の紹介
 (交流及び共同学習の事例含む)

学校種	児童生徒について	支援内容等	成果等
小学校	通常の学級に在籍する児童、ADHDの傾向	気持ちを落ち着かせる時間の確保	暴れてしまうことがあったが、できるだけ気持ちを落ち着かせる時間を確保するよう努めた。周りの児童に該当児童の良さを認めてもらうように働きかけることで、本人のストレスが減った。
小学校	通常の学級に在籍する児童、肢体不自由	昇降機の設置	車いす、昇降機を利用している。本人が自力で移動するが、友達が手伝ったり、見届けたりする場面も見られる。
小学校	通常の学級に在籍する児童、肢体不自由	支援員の配置	支援員を付けることで、日常生活の安全確保を行い、通常の学級で学習している。成長とともに歩行も安定してきている。
小学校	通常の学級に在籍する児童、情緒障害の傾向	担任による苦手分野のサポート、クールダウンの場所の確保	児童の特性に応じた支援(例:視写が苦手なため、視写する部分を指定したり、事前にノートのコピーを渡したりする)を行うことで、落ち着いて学習することにつながった。
小学校	特別支援学級に在籍する児童	支援員の付き添いによる交流学习	得意な教科は支援員の付き添いなしで、一人で交流学习に行くことができるようになった。評価テストで9割以上とることができるようになったことで自信をつけ、他教科にも参加することができるようになってきた。
小学校	肢体不自由の児童	特別な椅子、机、昇降機、トイレの手すり等の整備	左記の環境整備により、学校生活をスムーズに送れるようになっている。また、他の児童が声をかけ、手助けする姿も見られる。
小学校	弱視の児童	拡大読書器を使用、市費臨時職員の配置	左記の支援により、通常の学級で共に学んでいる。
小学校	特別支援学級に在籍する児童	個別対応のしかた等について、教員間で情報共有	通常の学級で交流及び共同学習を実施する際、左記の対応をすることで円滑な実施につながっている。教員の適切な対応を見て、周りの児童もよい関わりが増えている。
小学校	通常の学級に在籍する聴覚情報の過敏がある児童	イヤーマフ(※)の使用 ※ヘッドフォンの形をした耳全体を覆う防音具。	交流及び共同学習で、特別支援学級在籍の児童と共に学んでいる際、その児童がイヤーマフを使用している様子を見て、「自分も使ってみたい」と申し出たことで、合理的配慮につながっている。

小学校	特別支援学級に在籍する児童	タブレット端末の使用	タブレット端末を使用し、共に学んでいる。市教育委員会がタブレット端末の使用の許可やルールについて、保護者と学校の間をつなぎ、合意形成を図ることにつながっている。
小学校 中学校	特別支援学級に在籍する児童	支援員の配置 連絡カードの活用	最初に交流に行くときには、担任、支援員が付いていくが、その後は交流学級の友達が送り迎えをしている。連絡カードを活用することで、支援学級と交流学級の連携がとれている。
学校種 不明	特別支援学級に在籍する児童（生徒）	スモールステップでの指導	学校行事での交流を進めている。例えば、卒業式に向けては、初めは外から眺めるだけ、次は短時間だけ椅子に座り、だんだん時間を長くしていくなど、段階を細かく設定し練習に参加できるようにした。このような児童（生徒）の実態に合った指導を計画的に行うことにより、学校行事への参加が増えた。
小学校・ 中学校	特別支援学級に在籍する児童、生徒	児童生徒の状態に応じた学習内容等の調整	運動会や体育祭において、走る距離を調整するなどの配慮をして、共に活動している。
中学校	通常の学級に在籍する生徒、ADHD	クールダウンのための場所を準備	気持ちの切り替えがスムーズにできるようになってきている。
中学校	特別支援学級に在籍する生徒	交流学习計画の作成と職員間の共有	年度当初に職員間で交流の進め方について確認する場を設けている。給食、清掃、委員会活動、学校行事、教科の学習など、幅広い活動で交流学习が進んでいる。
中学校	特別支援学級に在籍する生徒	視覚支援の充実	通常の学級で学ぶ際、左記の対応をした結果、本人だけでなく他の生徒にとっても分かりやすくなり、支援につながっている。
中学校	通常の学級に在籍する自閉症スペクトラムの生徒	学年集会等で当該生徒とのコミュニケーションの取り方について具体的に指導	周りの生徒は、障害による特性を個性と受け止め、必要な支援を自然に行っている。
小学校	通常の学級に在籍する肢体不自由・弱視の児童	児童の実態に応じた学校行事の工夫	学級活動や運動会で行事を企画する際に、車イスを使用する児童や弱視の児童でも取り組むことができるゲームを中心にするなど、特別支援教育コーディネーターが職員会議で呼びかけたり、校内研修で取り組んだりした。

小学校	特別支援学級に在籍する児童	交流及び共同学習の継続実施	特別支援学級の児童と通常の学級の児童が、清掃活動において毎日交流を図っている。清掃活動を行う中で、クラスの行事(お楽しみ会など)に特別支援学級の友達を招きたいという意見が出た。子供主体で特別支援学級と通常の学級との交流が増加した。
小学校	通常の学級に在籍する児童	児童の実態に応じた学習内容等の調整	障害に合わせて、学習の量を調整したり、鉛筆ではなくタブレットを使ったりと、学習方略を変えている。その結果、障害のある児童にとっても「できた」と思える支援に繋がっている。また、協働的な学びの視点として、できることでの役割分担をすることでお互いのよさを認め合える活動となっている。
小学校	特別支援学級に在籍する児童	児童の実態に応じた学習環境の調整	特別支援学級の児童が交流学級で学習をする際に、児童にとって学習のしやすい座席や環境を特別支援学級の担任と通常の学級の担任が保護者の意向を踏まえて相談することで、学習しやすい環境を整えている。
小学校	通常の学級に在籍する児童、肢体不自由	児童の実態に応じた学習環境の調整	車イスの児童の席について、保護者の方と相談し、廊下側の入りやすい位置に設置している。また、車椅子の児童の在籍学年・学級を1階に配置している。
小学校	特別支援学級に在籍する児童	交流及び共同学習の効果的な実施	通常の学級の担任の写真などを特別支援学級に掲示し、日頃から通常の学級も意識できるようにしている。
小学校	通常の学級に在籍する児童	クールダウンのための環境設定	教室から飛び出してしまうことが多かった児童が、落ち着いて授業へ参加できるよう、自席付近へ人工芝を設置し、感覚を楽しむなど、本人が落ち着くことのできるスペースを設けるようにした。また、プレイルームを準備し、少し体を動かし、クールダウンしてから帰ってくるようにした。
小学校	特別支援学級に在籍する児童	意思表示カードの活用	交流学習に参加したい気持ちはあるものの、教室に入ることが難しい児童に対し、ヘルプカード(教室から出たいという意思を伝えるカード)を作成している。交流している学級の教室から出たいときは、それを机上に提示することで、見回りをしている教員等が教室の外へ誘導することができるようにした。

小学校	特別支援学級に在籍する児童	通常の学級「総合的な学習の時間」における交流活動	小学校4年生の総合的な学習の時間で福祉について学び、障害についての理解を深める一環で特別支援学級との交流を学んでいる。それまでの交流もあるが、障害についての知識を身につけることで、子供たちの学びの深まりを感じている。
学校種不明	特別支援学級に在籍する児童生徒	特別支援学級「生活単元学習」における交流活動	生活単元学習の中でお店屋さんを開き、通常の学級の友達を招いて交流している。
学校種不明	通常の学級に在籍する児童生徒、難聴	手話を活用した障害理解	難聴の児童が在籍している学級にて、周りの友達が手話を少しずつ覚え、手話でのコミュニケーションに取り組んでいる。少しでも手話に触れることで聴覚障害について理解できるようになっている。
学校種不明	通常の学級に在籍する児童生徒	合理的配慮に対する周囲の理解	障害のある子どもに対する合理的配慮を周りの児童・生徒が受け入れる学級、学校の雰囲気を作っている。障害のある児童・生徒も自分らしさを受け入れ前向きにチャレンジすることができた。自閉・情緒の児童が、通常級であっても、大きく成長できた。
小学校	特別支援学級に在籍する児童生徒	児童の実態に応じた学習内容等の調整（学校行事）	肢体不自由学級の児童が運動会に参加をする際は、その児童の走る距離を短くしたり、団体種目では、司会等を任せたりする場面もあった。
学校種不明	通常の学級に在籍する児童生徒	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室の環境設定	棚のカーテンを設置するなど、教室前面の環境を整備することで、みんなが授業に集中しやすいように、配慮をしている。
小学校	通常の学級に在籍する児童生徒、肢体不自由、医療的ケア	児童生徒の実態に応じた学習環境等の調整	ユニバーサルデザインの視点で教室掲示や児童生徒への声かけを行うとともに、実態に応じて、タブレットの活用や、イヤーマフ、クールダウンスペースを活用できるようにしている。周りの子への理解も図っている。また、医療的ケアの看護師配置、特別支援教育支援員の配置も行っている。通常の学級において、車イスを使用し、医療的ケアを必要としている児童が学んでいる。

小学校	特別支援学級に在籍する児童生徒	交流及び共同学習の効果的な実施	当該学年の交流学級に学習に行く際に、交流学級の児童が特別支援学級の児童を迎えに行き、会話をしながら教室へ行き、そのまま授業に入る。特別支援学級の児童は、活動時や共に考える場面でも自分の意見や感想などを楽しく発表し、交流学級を十分楽しんで特別支援学級へ帰ってきている。教室へ行くことが楽しみになっている。
-----	-----------------	-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------